

国分寺市新庁舎建設基本構想（案）パブリック・コメントの意見反映状況

※「反映状況」について
 有：基本構想に反映する意見
 無：基本構想に反映しない意見
 済：基本構想案に反映済みの意見

・意見をお寄せいただいた方の数：66
 （個人63・団体3）
 ・お寄せいただいた意見の数：71件
 ・基本構想に反映する意見の数：3件
 ・基本構想に反映済みの意見の数：18件

1. 新庁舎建設基本構想の記載内容について

1. 3新庁舎建設の必要性（6頁）		反映
1	意見の概要 「可能な限りの早期着手が求められている」と最大級に強調したことの根拠を示してもらいたい。	無
	市の考え方 現庁舎は分散状況や来庁者への利便性等の様々な課題を抱えており、「新庁舎建設に関する市民アンケート調査報告書」（平成30年3月）においても早期の解消を求める自由意見が多く、さらに近年相次ぐ地震等を踏まえ、いつ発生するか分からない自然災害に対して災害対策拠点としての更なる機能確保が必要であると考え、そのように記載しています。	
2. 1基本理念及び基本方針（7頁）		反映
2	意見の概要 基本理念はよく分からず必要ないと思うが、基本方針はその通りだと思う。「頼りがいのある」は、災害対策拠点として被災しない頑丈な建物にすることで、どの程度頑丈にするのか明確にするべきである。「無駄のない」は、できるだけ長期使用できる建物にして経済的に無駄を少なくすることで、期間を明確に決める必要がある。その他の4つは最もだが、多くがソフトウェアの部分であり、時代の変化に対応できる建物をつくる必要がある。現在の国分寺市は市民が気楽に集まるところが不足している。	済
	市の考え方 基本理念及び基本方針に基づき、今後新庁舎の詳細を検討していきますので、ご意見はその際に参考とさせていただきます。	
2. 1基本理念及び基本方針（7頁）		反映
3	意見の概要 基本理念・基本方針については、よく検討されていると思うが、現状の市施設をそのまま移転・統合するような印象であり、IT社会の現状を踏まえて、将来を見越して市として拡充すべきもの、不要なもの等の検討をしたうえで移転計画をすべきで、その観点が不足しているように思う。第三者機関や民間等に提言を依頼するののも一つの手段である。	済
	市の考え方 庁舎機能として拡充すべきもの、不要なもの等を含め、今後、新庁舎の詳細を検討していくため、「まとめと今後の進め方」（24頁）に記載のとおり、独立した立場の技術者から支援を受けるコンストラクション・マネジメント手法の導入も検討していきます。	

4	2. 2新庁舎に求められる機能（9頁）		反映
	意見の概要	災害対策拠点となる、安全・安心な庁舎について、より実行力のある形で推進するために、非常用発電機をコージェネレーションシステムの設置による自立分散型電源に変更することを提案する。非常時の自家発電設備だけでは十分とはいえず、常時にも活用でき、経済性及び環境性にも優れるからである。	済
	市の考え方	非常用発電機だけでない自立分散型電源という視点は重要と考えており、「（1）災害対策拠点となる、安全・安心な庁舎」に太陽光発電設備等による電力のバックアップを行う考え方を記載しています。ご意見は今後新庁舎の詳細を検討する際の参考とさせていただきます。	
5	2. 2新庁舎に求められる機能（9頁）		反映
	意見の概要	新庁舎には、災害発生後72時間以降に停電が継続していても市民に情報発信できるアナログな大型掲示板等の設置や、災害発生後に市民が集まってきた際の屋根のあるオープンスペースの確保が必要だと考える。また、適切な省エネや無駄のない修繕計画等を可能とするビルマネージメントシステムを導入してもらいたい。	無
	市の考え方	災害対策拠点としての安全性・機能性を確保する必要があると考えており、ご意見も参考に今後新庁舎の詳細を検討してまいります。	
6	2. 2新庁舎に求められる機能（9頁）		反映
	意見の概要	高層のコンクリート造建築は、地震が発生すると少し傾き、修理不能の雨漏りやガラス窓の落下を引き起こすと考えられる。	無
	市の考え方	現行法令による高さの制限から、新庁舎は高層ではなく5、6階建ての建物になると想定しています。	
7	2. 2新庁舎に求められる機能（9頁）		反映
	意見の概要	建物は、できるだけ大きく作り、現時点で使用しない部分は賃貸するなどして、再び建て増したり建て直すことのないようにするべきである。スケルトンインフィルという考えを取り入れ、AI、IoTなどの急激な世の中の変化に合わせて作り替えられる建物にするべきであり、地下部分も大いに利用するべきである。	済
	市の考え方	スケルトンインフィルなど建物利用に柔軟性を持たせる視点は重要と考えており、「（3）費用対効果が高く、長く使いやすい庁舎」にフレキシビリティを確保する考え方を記載しています。ご意見は今後新庁舎の詳細を検討する際の参考とさせていただきます。	

8	2. 2新庁舎に求められる機能（9頁）		反映
	意見の概要	泉町都有地に建設が決定した際は、余裕のある駐車場と駐輪場を確保してもらいたい。	無
市の考え方	現庁舎では110台分の駐車場があり、基本構想においては新庁舎の駐車場は130台分を想定しており、駐輪場も確保していく考えです。新庁舎における駐車場・駐輪場については、今後、詳細を検討していきますので、ご意見はその際の参考とさせていただきます。		
9	2. 2新庁舎に求められる機能（9頁）		反映
	意見の概要	市民としては、自動車より自転車の駐輪場をできるだけ庁舎入口に設けてもらいたい。自動車の安易な利用は可能な限り抑制してもらいたい。	無
市の考え方	高齢社会の進展を踏まえれば、自動車の利用は必ずしも安易とは言えないと考えます。新庁舎における駐車場・駐輪場については、今後、詳細を検討していきますので、ご意見はその際の参考とさせていただきます。		
10	2. 2新庁舎に求められる機能（9頁）		反映
	意見の概要	ワンストップサービスは良いが、窓口に市民が殺到して待ち時間が長くなることを危惧している。新庁舎では、市民を待たせない工夫を設計を実現してもらいたい。	無
市の考え方	市民にとって使いやすい新庁舎とするため、今後、詳細を検討していきますので、ご意見はその際の参考とさせていただきます。		
11	2. 2新庁舎に求められる機能（10頁）		反映
	意見の概要	泉町都有地に新庁舎を建設する際は、ぶんバスや公共バスが、庁舎直近まで来れるバス乗り場や、タクシーの乗降場所なども整備すべきだと思う。	無
市の考え方	バス等の公共交通機関の状況も踏まえ、今後、新庁舎の詳細を検討する際の課題として捉えていきますので、ご意見はその際の参考とさせていただきます。		

12	2. 2新庁舎に求められる機能（11頁）		反映
	意見の概要	ガラス張り吹き抜けの大空間は快適な空調が難しくエネルギーロスの多さや使用可能なスペースの圧迫が問題であり、吹き抜けや大空間を無くし、断熱性が高く必要な所だけに適温に空調したり、会議内容に合った会議室や適度な外光採用など、働きやすく、建物の手入れもシンプルな市庁舎とするのがよい。	済
市の考え方	環境配慮は大切な視点であり、「（8）環境に配慮した庁舎」に自然エネルギーの積極的な活用により環境負荷を低減し、エネルギー効率の高い庁舎とする考え方を記載しています。ご意見は今後新庁舎の詳細を検討する際の参考とさせていただきます。		
13	2. 2新庁舎に求められる機能（11頁）		反映
	意見の概要	環境に配慮した庁舎に賛同する。自然エネルギーとコージェネレーションを併設することで、環境負荷を低減したエネルギー効率の高い庁舎とすることが可能となる。	済
市の考え方	No. 12と同じ		
14	2. 2新庁舎に求められる機能（11頁）		反映
	意見の概要	太陽光発電のみならず、電力消費量を減らせる地下熱の利用や、緊急の場合に対応できるよう大型の雨水貯水設備の設置をするべきである。	済
市の考え方	No. 12と同じ		
15	2. 2新庁舎に求められる機能（9頁など）		反映
	意見の概要	新庁舎に新中央図書館を併設してもらいたい。本多図書館は特に老朽化が著しく、近隣の都立多摩図書館との連携をすれば距離的にもメリットが高い。また、新庁舎の屋上に天体望遠鏡を設置して青少年の科学教育の一助にしてはどうかと考える。	無
市の考え方	今後、新庁舎の詳細を検討してまいりますので、ご意見はその際の参考とさせていただきます。		

		2. 2新庁舎に求められる機能（9頁など）	反映
16	意見の概要	新庁舎内に、障害者がいきいきと活躍できる場として、福祉喫茶コーナーを設置することを要望する。自治体でも設置しており、障害者が市民と直接関わって相互理解を深め合う場や、子ども食堂や就学困難児童の学習の場、高齢者のサロンや体操教室を行う場としての利用など、喫茶コーナーの活用方法には多様な可能性が見いだせると考える。	無
	市の考え方	No. 15と同じ	
		3. 新庁舎の規模（12頁）	反映
17	意見の概要	他の自治体の役所の数値を根拠とするなどしている延床面積は本当に妥当なのか疑問である。	済
	市の考え方	同規模他自治体の平均値だけでなく、現庁舎の調査により得られた数値も踏まえて算出しています。無駄のない庁舎とするため、新庁舎の規模については今後さらに精査してまいります。	
		3. 新庁舎の規模（12頁）	反映
18	意見の概要	新庁舎に必要とされる延床面積は、現在の延床面積に比べてあまりにも規模が大きいように見受けられる。建物を高くすると、日照や近隣への圧迫・電波障害も危惧され、他市で維持費が多額になったと聞いたこともある。必要な配置、スペースを検討し、コンパクトな新庁舎を計画してもらいたい。	済
	市の考え方	No. 17と同じ	
		3. 新庁舎の規模（12頁）	反映
19	意見の概要	新庁舎の規模は、単なる足し算ではなく、現状の分散された市の機構が統合されることによる効率化、ITによる職場環境の変化等を更に検討すべきであり、提案面積に縛られないように計画を進めるべきである。	済
	市の考え方	No. 17と同じ	

20	3. 新庁舎の規模（12頁）		反映
	意見の概要	国分寺市の人口の推移の想定とその年齢等の構成割合の見込みに合った新庁舎の規模を明確にしていきたい。	済
市の考え方	No. 17と同じ		
21	3. 新庁舎の規模（12頁）		反映
	意見の概要	今後20年、30年先には、在宅や身近な場所でサービスが受けられる可能性があり、業務の見直しを前提に庁舎の規模を決定していきたい。	済
市の考え方	No. 17と同じ		
22	3. 新庁舎の規模（12頁）		反映
	意見の概要	新庁舎に必要な延床面積に教育委員会関係も算入されているのか示していただきたい。	済
市の考え方	教育委員会関係も含め、分散した庁舎機能を全て集約することを前提に必要な延床面積として算出しています。		
23	表4-2建設候補地の特徴（15頁）		反映
	意見の概要	「東京都緊急輸送道路の接道状況」について、新府中街道が開通後には特定緊急輸送道路の定義上指定されることになるので、その予定も併記すべきである。	無
市の考え方	東京都緊急輸送道路は国道等やこれらを連絡する幹線道路が指定されていますが、現庁舎用地に接する新府中街道はまだ道路として開通しておらず、指定されていません。両候補地ともに、あくまでも現時点での事項を前提として記載しています。		

		表4-2建設候補地の特徴(15頁)	反映
24	意見の概要	「防災性」の「東京都緊急輸送道路の接道状況」の「A現庁舎用地現(戸倉)」において、都市計画道路国3・2・8号を記載するべきである。	無
	市の考え方	No. 23と同じ	
		表4-2建設候補地の特徴(15頁)	反映
25	意見の概要	「防災性」に、災害時の生活に不可欠な市が定める「災害時の生活支援施設との近接性」と、防災・ハザードマップの評価項目の一つである「土砂災害警戒区域等」と、災害状況の把握や各地の避難所等への職員派遣についての「大規模災害時の市民への救済・救援活動等の作業性」を追記するべきである。	無
	市の考え方	市役所に設置される災害対策本部の機能に着目し、災害時の活動拠点となる施設や市全域に機能が及ぶ施設を中心にまとめています。土砂災害警戒区域には、いずれの建設候補地も該当していないため、記載していません。職員派遣については、上記施設との近接性において評価しています。	
		表4-2建設候補地の特徴(15頁)	反映
26	意見の概要	「広域避難場所との近接性」について、現庁舎用地の記載は、市の防災マップにもとづき、「けやき公園・都立小平南高校一帯 1.0km」に修正するべきである。	有
	市の考え方	けやき公園・都立小平南高校一帯との距離を追記します。	
		表4-2建設候補地の特徴(16頁)	反映
27	意見の概要	「災害時の屋外活動スペースの確保」について、抽象的であり、具体的な活動目的と面積の根拠を示さなければ、現庁舎用地におけるスペースの確保が困難とは言えない。	無
	市の考え方	一般的に、関係機関の活動や災害活動拠点の被災時における臨時の活動拠点等に多目的に活用するにはまとまったスペースが必要になります。泉町都有地については、隣接する都立武蔵国分寺公園と併せてそのようなスペースを確保しやすい点が、公園等が隣接していない現庁舎用地と異なるため、記載に差が生じています。	

		表4-2建設候補地の特徴(16頁)	反映
28	意見の概要	「最寄駅」の表記を、直線距離ではなく徒歩時間に修正するべきである。利用人員については、西国分寺駅の乗降者には府中市民も多いので、両駅の国分寺市民の乗降人員数を示さなければ意味がない。	有
	市の考え方	客観的な表記である直線距離を記載しましたが、ご指摘を踏まえ、徒歩時間についても参考として記載します。駅の利用人員については、全ての乗降者の内訳を把握することは困難です。	
		表4-2建設候補地の特徴(16頁)	反映
29	意見の概要	「利便性」に、市役所利用者にとって極めて重要な考慮要素である地理的重心との近接性と、同じく利用者にとって重要な具体的な公共交通アクセス手段を追記するべきである。	有
	市の考え方	平成20年の調査報告書に記載のある地理的重心との近接性を追記します。なお、公共交通アクセスについては、バス等の公共交通の結節点となる鉄道駅について最寄り駅として記載することで評価しています。	
		表4-2建設候補地の特徴(16頁)	反映
30	意見の概要	「まちづくり」に「今後のまちづくりの発展性」を追記するべきである。現庁舎用地は、民間活力を導入して、新庁舎、図書館、公民館等を合わせたマンション等を建設して経費節減や周辺地域の活性化を図る検討が必要だが、泉町都有地は、商業施設や中高層マンション等の建設は不可能で発展は困難である。	無
	市の考え方	新庁舎とどのような施設が複合可能なのかは、今後、新庁舎の規模と併せて詳細に検討する必要があると考えます。	
		表4-2建設候補地の特徴(16頁)	反映
31	意見の概要	「工期に影響を与える特殊要因」について、新府中街道については東京都は工事上の問題は発生していないとの見解で、都市計画道路の事業スケジュールが遅れた場合に影響を受ける可能性があるというのは不適切な表現である。	無
	市の考え方	実際の工期への影響の有無は事業を実施するまで分かりませんので、それぞれの建設候補地について、工期に影響を与える可能性のある特殊要因を記載しています。	

		表5-10 想定配置と工事手順のパターン (17頁)	反映
32	意見の概要	新庁舎の完成イメージにおける、地下階層をどのように考えているのか示してもらいたい。	無
	市の考え方	新庁舎の完成イメージは、それぞれの建設候補地で建設可能なボリュームを一例として掲載したものであり、地下の活用を含めた新庁舎の詳細は今後検討してまいります。	
		表5-11 工事手順のパターンごとの主な課題 (18頁)	反映
33	意見の概要	泉町所有地においても周囲への圧迫感や近隣の電波障害について検討するべきであり、多くの項目で公平に検討されていない。	無
	市の考え方	泉町所有地については、戸建住宅が隣接しておらず、周辺建築物も公共施設や道路を挟んで立つ集合住宅である点が現庁舎用地と異なるため、記載に差が生じています。	
		表6-1 想定事業費 (19頁)	反映
34	意見の概要	想定建築費が一般的な建物より高いと思われ、強度や耐久性を十分考えた建物だと予想されるが、それらを明確な数値データで表さないと意味がない。	無
	市の考え方	想定建設費は他自治体事例を参考に算出しており、今後、新庁舎の耐震性能等の詳細を検討していきます。	
		表6-1 想定事業費 (19頁)	反映
35	意見の概要	想定事業費について、候補地選定のための工事費の比較なので、土地取得費用は別欄にするべきで、財産が増える認識が必要である。また、移転に伴う新たな備品や長期にわたるメンテナンス費用等もっと細やかな検討が必要であり、想定費用を市としてどのように考えるのか明確にするべきである。	無
	市の考え方	用地取得費も総事業費の想定に必要と考えています。事業費については、必要なものを想定していると認識しており、今後も精査して事業費の抑制に努めてまいります。その際には、ランニングコストも重要な視点であると考えています。	

		表6-1 想定事業費（19頁）	反映
36	意見の概要	市役所に100億円超は多すぎるので、もっと下げること考えてもらいたい。駐車台数の削減や高層化により敷地を狭くするなど、出費の削減策をもっと検討するべきで、返済に無理がないことを説明してもらいたい。市民にとって市役所建設はお金をかける優先順位は低いと感じる。	無
	市の考え方	事業費については、必要なものを想定していると認識しており、今後も精査して事業費の抑制に努めてまいります。	
		6. 新庁舎の想定事業費の算出（19頁など）	反映
37	意見の概要	新市庁舎を建設した場合のランニングコストを現状と比べた増減、年度予算に対するインパクトの見込みなどのシミュレーションを提示してもらいたい。	無
	市の考え方	事業費については、必要なものを想定していると認識しており、今後も精査して事業費の抑制に努めてまいります。その際には、ランニングコストも重要な視点であると考えています。	
		7. 事業手法の検討（21頁）	反映
38	意見の概要	建築に詳しい職員や市内の専門家が設計監理すればよく、コンストラクションマネージャーを介在させる必要性があるのか疑問であり、建てる側の考えまで他人に任せるべきではない。	無
	市の考え方	質とコストのマネジメントのためにはコンストラクション・マネジメントの導入も必要であると認識しています。その場合でも、新庁舎建設における決定は市が責任をもって行っていきます。	
		7. 事業手法の検討（21頁）	反映
39	意見の概要	事業手法は、各地で従来方式による入札不調が発生しており、しっかりした調査・対応・準備をするべきで、検討の中ではCM併用のDB方式が最適と思われる。従来方式では設計段階と施工段階での予算のかい離が生じるなどコスト管理が難しく、DB方式により民間のノウハウを取り込むことによるコスト管理、工程管理のやりやすさのメリットは大きい。	済
	市の考え方	事業手法については、今後、詳細を検討してまいりますので、その際の参考とさせていただきます。	

		7. 事業手法の検討（21頁）	反映
40	意見の概要	PFI事業による施設はデザインも冷たく感じ、従業員もその場限りで永続的な信頼関係は構築できない。PFIは権利関係等が不透明で、市役所が借家人のようになるのはやめてもらいたい。市の貯金で建設するべきで、貯まるまでは地震は起きないであろうし、起きたらバラック庁舎で業務を行えばよい。	無
	市の考え方	新庁舎建設については、現庁舎の分散状況等の課題の解決のために早期着手が求められていると考えています。事業手法については今後詳細を検討してまいります。	
		まとめと今後の進め方（24頁）	反映
41	意見の概要	地方自治法第4条第3項を紹介しているが、平成31年4月予定の市議会議員選挙による改選後の市議会で建設地が確定する蓋然性があるのか認識を示してもらいたい。	無
	市の考え方	庁舎の位置に関する地方自治法上の規定として紹介したものであり、ご指摘のような認識はありません	
		基本構想全体について	反映
42	意見の概要	構想案は泉町都有地に移転したい意図が強く伝わり公平性を著しく欠いている。市民として便利な場所に市役所がある必要性は感じず、それよりも簡易的な出張所を便の良いところを作る方がよい。	無
	市の考え方	新庁舎の建設候補地については、多角的な観点から比較しています。ご意見は今後の資料作成の参考とさせていただきます。	

2. 事業の進め方について

		事業の進め方について	反映
43	意見の概要	耐震性から建て替えが必要なことは賛同するが、庁舎の移転とは分けて考えるべきである。「建て替え」を十二分に検討した結果「移転」を考えるのが道筋であり、2つの選択肢を提示するまでのプロセスが一切不明で疑問である。	無
	市の考え方	サービス拠点、防災拠点としての機能を果たすためには、一定の規模が必要であり、市民アンケート調査結果からニーズが高い現庁舎用地と国分寺駅、西国分寺駅周辺で、「3. 新庁舎の規模」（12頁）に記載した必要な延床面積の新庁舎が建築可能な土地を絞り込んだ結果、2つの建設候補地を検討する必要があると考えています。	

44	事業の進め方について		反映
	意見の概要	基本構想案は、重要事項を全く伏せて説明していないため、市の職員だけで策定するのではなく、専門家に委託して見直すべきである。	済
	市の考え方	基本構想には現在整理している基本理念や建設候補地などの情報を記載しており、新庁舎の詳細は今後検討していきます。なお、基本構想の策定にあたっては、専門的知見を有する事業者に支援業務を委託しています。	
45	事業の進め方について		反映
	意見の概要	立地のみを問うているようだが、市民にとっては利便性や税金の効果的使用等の機能面の情報が欲しいので、抽象的な表現ではなく具体的に説明してもらいたい。	済
	市の考え方	新庁舎の具体的な機能等については、今後、詳細を検討してまいりますので、「まとめと今後の進め方」(24頁)に記載のとおり、市民参加の場を設けていきます。その際には分かりやすい説明を行い、多様な意見を収集して反映できるよう努めます。	
46	事業の進め方について		反映
	意見の概要	新庁舎建設は、今後の市の政策を左右する大きなプロジェクトであり、市の将来を見据え、市役所の位置、機能、構造について多様な意見を反映し、大きな投資に見合う整備計画となるよう検討を続けてもらいたい。	済
	市の考え方	No. 45と同じ	
47	事業の進め方について		反映
	意見の概要	現庁舎用地での民間活力を導入した市役所、図書館、公民館とマンション等を合築する手法について、民間デベロッパー等にプロポーザルを募集するべきである。	無
	市の考え方	新庁舎の具体的な機能等については、今後、詳細を検討してまいります。また、事業手法については、民間活力の導入を検討していきますので、ご意見はその際の参考とさせていただきます。	

48	事業の進め方について		反映
	意見の概要	災害対策本部などの仮移転について、新庁舎建設の施行年を10年弱ほど先延ばしにすれば、例えば西国分寺駅東側の市有地や、現在の室内プールの敷地を視野に入れられると思うので、そういった検討の余地について認識を示されたい。	無
市の考え方	新庁舎建設については、現庁舎の分散状況等の課題の解決のために早期着手が求められていると考えています。なお、現庁舎用地での建替えの場合には、仮設庁舎についての詳細な検討が必要になると考えています。		
49	事業の進め方について（市民参加）		反映
	意見の概要	今後、計画の実行状況等をこまめに市民に通知して欲しい。	無
市の考え方	適宜分かりやすい市民周知を行ってまいります。		
50	事業の進め方について（市民参加）		反映
	意見の概要	市民アンケートの自由意見として冗長化分散化を求める意見が目立つが、拠点集約化にまとめることはミスリードではないかと思う。今後策定されるであろう基本計画に先立って、地域コミュニティやテーマコミュニティからなる諮問会議等に答申を求めるべきではないかと考えるが、そのような余地の有無について示してもらいたい。	無
市の考え方	新庁舎については、現庁舎の分散状況等の課題の解決が求められていると考えています。今後、基本計画を策定することとなり、その具体的な手法はこれから検討するため、ご意見として承ります。		
51	事業の進め方について（市民参加）		反映
	意見の概要	国分寺市総合ビジョンの取組方針で新庁舎建設に向けた市民参加の促進を掲げているが、事業スケジュール上、市民参加の機会はいつ頃確定するのかを示してもらいたい。	無
市の考え方	今後の新庁舎建設の検討についての具体的な手法はこれから検討し、各段階で市民意見を聞く機会を適切に設定してまいります。		

52	事業の進め方について（市民参加）		反映
	意見の概要	これまでの説明会等の参加者は各会場で数人と聞いており、市民に対する対応の結果と受け止め、情報伝達方法の工夫が必要がある。	無
	市の考え方	新庁舎建設に関するお知らせを全戸配布するなど、適切な市民周知の手法を検討して実施しておりますが、引き続き丁寧な市民周知に努めてまいります。	
53	事業の進め方について（市民参加）		反映
	意見の概要	現庁舎は一定の耐震性を有しているとのことで、広く市民の意見を繰り返し集め、十分時間をかけて検討するべきであり、身の丈にあった庁舎にするべきである。	無
	市の考え方	No. 52と同じ	
54	事業の進め方について（市民参加）		反映
	意見の概要	初期計画をしっかりと行い当初予算を堅持できる計画にして、広く市民意見を丁寧に聴き取り十分活かして計画を練り上げて実施するべきである。	済
	市の考え方	事業費については、今後も精査して抑制に努めてまいります。今後の新庁舎建設の検討についての具体的な手法はこれから検討し、各段階で市民意見を聞く機会を適切に設定してまいります。	
55	事業の進め方について（住民投票の実施）		反映
	意見の概要	建設場所の2案について、判断が難しいので、4月の市議会議員選挙に合わせて住民投票を実施することを提案する。	-
	市の考え方	ご意見として承ります。	

事業の進め方について（住民投票の実施）		反映
56	意見の概要	市民全体に関わる案件であり、多くの市民の意向を反映できる住民投票の手段をとることも検討したらいいのではないかと考える。
	市の考え方	ご意見として承ります。
		-

3. 新庁舎建設への反対

新庁舎建設への反対		反映
57	意見の概要	不相応な庁舎は不要であり、今後を見通せば、オンライン手続きが当たり前となり、物理的な庁舎は縮小するのが必然で、災害時も既存施設を活用する準備をしておけば十分である。オンラインで全て完了できる仕組みに予算を振り向けてもらいたい。
	市の考え方	新庁舎建設については、現庁舎の分散状況等の課題の解決のために早期着手が求められていると考えており、引き続き理解を得られるよう進めてまいります。新庁舎の規模については、妥当であると考えており、無駄のない庁舎とするため、今後さらに精査してまいります。
		-
新庁舎建設への反対		反映
58	意見の概要	今回の案は全体的に費用も規模も大きすぎる。大企業もなく金持ちではない市なのだから身の丈にあったものにした方がよく、現状に改善を加えていった方が余計な費用がかからなくてよい。
	市の考え方	新庁舎建設については、現庁舎の分散状況等の課題の解決のために早期着手が求められていると考えており、引き続き理解を得られるよう進めてまいります。事業費については、必要なものを想定していること認識しており、今後も精査して事業費の抑制に努めてまいります。
		-

4. その他の意見

庁舎の分散状況について		反映
59	意見の概要	分散庁舎の現状の図に子ども家庭支援センターなどが書かれていたが、これらの施設をどうしようとしているのか。
	市の考え方	今後、新庁舎の詳細を検討してまいります。その際には、「1.3新庁舎建設の必要性」（6頁）に記載しているとおり、現庁舎の分散状況を課題として認識しており、解決のために基本的には各施設の執務室等の庁舎機能を新庁舎に集約する方向で考えています。
		無

60	庁舎の分散化		反映
	意見の概要	震災に備えて庁舎は集約するべきでなく、分散の管理は大変だが、保険を掛けたと思えば安心である。	無
市の考え方	新庁舎については、現庁舎の分散状況等の課題の解決が求められていると考えています。そのうえで、災害対策拠点として安全・安心な新庁舎を検討してまいります。		
61	配布したお知らせについて		反映
	意見の概要	市の配布物は、泉町所有地が埋蔵文化財調査以外全てが有利となっている。	-
市の考え方	No. 42と同じ		
62	ぶんバスについて		反映
	意見の概要	市内のどこからでもぶんバスで市役所に行けるように、新庁舎建設を契機にルートを抜本的に見直してしてもらいたい。	-
市の考え方	今後の検討の参考とさせていただきます。		
63	公共施設の適正再配置について		反映
	意見の概要	市役所以外にも図書館など生活している方々や次世代のための施設の老朽化が著しく、全体的な施設の検討をお願いしたい。	-
市の考え方	公共施設の適正再配置も重要な課題と認識しており、適切に進めてまいります。		

64	出張所について		反映
	意見の概要	市民が訪れやすい、開かれた庁舎は、市政の基本が市民1人1人を大事にしているかどうか反映されるものであり、高齢者の増加する国分寺市では、新庁舎1か所の窓口でなく、各出張所の計画も明確に盛り込んでもらいたい。	-
市の考え方	ご意見として承ります。		
65	泉町公有地の活用		反映
	意見の概要	泉町公有地は、将来必要となる公的な大型施設の建設用地として早めに確保して残す計画とするべきである。	-
市の考え方	ご意見として承ります。		
66	市民アンケートについて		反映
	意見の概要	資料に記載の市民アンケート調査結果の概要だけでは、それぞれの多寡は判断しにくく推移として確認したいので、過去の同様のアンケートがあれば示してもらいたい。	-
市の考え方	新庁舎に関する単独のアンケートは近年では他にありません。		
67	東京都への申し入れ		反映
	意見の概要	新府中街道新設により市役所敷地が一部削られ土地利用しにくくなったことを理由に、東京都に隣接地の補償を申し入れるべきである。	-
市の考え方	ご意見として承ります。		

5. パブリック・コメントに関する意見

68	パブリック・コメントについて		反映
	意見の概要	今回の意見募集結果は偽りなくすべて公開してもらいたい。	-
市の考え方	市報については紙面制約もあり抜粋となりますが、全体の結果については公共施設での配架やホームページの掲載を行います。		
69	パブリック・コメントについて		反映
	意見の概要	意見提出期間として、年末から正月にかけての1か月間はおかしく、少なくとももう1か月長くするべきである。	-
市の考え方	ご意見として承ります。		
70	パブリック・コメントについて		反映
	意見の概要	意見提出期間の期限が早すぎるので、2月への延期と説明会の開催を望む。	-
市の考え方	ご意見として承ります。		
71	パブリック・コメントについて		反映
	意見の概要	情報公開手続にそって情報公開請求をしたものの、まだその内容は公開されておらず、電話で説明は受けたが、念のためパブリックコメント報告のかたちであらためてその事情を示してもらいたい。	-
市の考え方	情報公開請求に対しては、定められた手続に沿って公開を行いました。		